

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 各市の健診結果票、保健指導帳票

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分からホール3Aで行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
- TEL：06-6879-3917・3918 FAX：06-6879-3913
 - Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料1-2. 平成25年度研修会IBC（平成26年2月17日・18日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成25年度第1回研修会 時間割
平成26年2月17日(月)～18日(火)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、保健指導計画を立案することができる。
- 3) 本戦略研究における研修やモニタリングの仕組み及び介入内容の標準化について理解したうえで、保健指導の質の向上に取り組むことが出来る。
- 4) 健診結果が示している身体状態を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 5) 管理台帳を活用し、すべての対象者を継続的に効率的に支援できる。
- 6) 上記1)から5)について、他のスタッフに復命することができる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	9:50-10:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成26年2月17日(月) 10:00-10:30	開講の挨拶・趣旨説明	磯
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。相談窓口(戦略研究推進室)を理解する。	
2	" 10:30-11:00	I 保健指導プログラムの基本的な考え方	野口
		本研究における保健指導プログラムの概要、全体的な流れ、介入必須条件、保健指導の各ステップや内容(初回指導、継続指導)について理解する。	
3	" 11:00-12:20	II 保健指導プログラムの理論的枠組み概要	牧本
		本戦略研究の保健指導プログラムの理論的な基礎であるヘルス・ビリーフ・モデルとそれに基づく受療行動促進モデルについて理解するとともに、保健指導のアセスメントと教育介入の枠組みを理解する。	
4	" 13:30-15:00, 15:10-15:50	III 保健指導の実施方法	野口
		受療行動促進モデルに基づいて健診結果経年表と構造図を活用した具体的な保健指導の展開(高血圧、糖尿病、脂質異常症、蛋白尿)を学ぶ。管理台帳の記入方法及び管理台帳を活用した保健指導計画の立案について学ぶ。	
5	" 15:50-16:20	質疑応答	担当講師全員
		重症化ハイリスク者に対する受療行動促進モデルについてのイメージ化、構造図を使った保健指導の展開イメージ等について確認し、疑問点を解決する。	
6	" 16:30-16:50	IV 研修会について	横山
		本戦略研究における研修会の全体計画について、その趣旨や仕組み等について知る。	
7	" 16:50-17:20	V モニタリングについて	吉田
		本戦略研究におけるモニタリングについて、その趣旨や仕組みについて知る。	
8	" 17:20-17:50	VI 医療との連携について	北村
		重症化ハイリスク基準の各学会ガイドライン上での位置づけ等を知る。医療機関との連携で考慮すべき点を理解するとともに、連携を円滑に進めるためのツールや方策を学ぶ。	
9	17:50-18:00	事務連絡	丸山
		事務連絡	
10	18:00-19:00	交流会	希望者全員
		情報交換など交流を深める。	

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
11	平成26年2月18日(火) 9:00-10:30	VII 事例検討、演習 保健指導計画の立案及び保健指導展開例の提示	野口
	事例をもとに具体的な身体状態等の読み解き、保健指導計画の立案を各自及びグループで演習を行う。その後、講師が基本的な読み解き、保健指導計画について解説する。 また、講師が健診結果経年表・構造図を用いて保健指導の展開例を示し、受講者同士でロールプレイを行う。この過程を通じて具体的な保健指導展開を学ぶ。		
12	" 10:30-12:30	事例1	野口、 介入サポートチーム
	40分:読み解き+解説 30分:ロールプレイ(役割:保健指導実施者、対象者、観察者) 20分:評価と共有		
13	" 13:30-15:30	事例2、3	野口、 介入サポートチーム
	同上		
14	" 15:30-15:50	事例検討のまとめ	野口、 介入サポートチーム
	事例検討を通じて、展開が困難であった点について確認する。		
15	" 15:50-16:20	VIII 伝達研修及び研究実施体制のセルフチェックについて	横山
	研修内容を他のスタッフにどのように復命するか。介入市における研究実施体制・実施状況に関するセルフチェックについて。		
16	" 16:20-16:30	事務連絡	丸山
	事務連絡		
※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。			
※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。			

資料 2-1. 平成 25 年度研修会 I A (平成 26 年 2 月 24 日) 開催案内文書

平成 26 年 2 月 18 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で説明会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この説明会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ管理ができるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から、計2～3名ご参加ください。

データ収集・管理および契約に関する担当者

保健指導表送担当の保健師（そのうち保健師1名は本研究担当のリーダー的立場の方）

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）をご記入の上、2月19日（水）までに、メールまたはFAXにてお申し込みください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年2月24日（月）13：00～17：30

※説明後16：30～17：30まで、同会場にて交流会を開催致します。是非ご参加ください。事前申し込みは不要です。

会場：TKP神田ビジネスセンターANNEX ホール4A（URL：<http://kanda-kc.net/annex>）

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-10 内神田ビル Tel.03-5227-8772（別紙2地図参照。）

【3】説明会の予定：別紙3時間割をご参照ください。

【4】説明会中の注意事項

- (1) 受付は12時50分からホール4Aで行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、説明会への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (4) ネームカードを受付時に貸与し終了後に回収します。
- (5) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
・TEL：06-6879-3917・3918 FAX：06-6879-3913
・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 2-2. 平成 25 年度研修会 I A (平成 26 年 2 月 24 日) 当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成25年度 介入自治体への合同説明会
時間割
平成26年2月24日(月)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※
介入自治体における保健指導プログラムの遂行およびデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※
1) 研究の意義や介入自治体の役割を理解し説明することができる
2) 保健指導プログラムの遂行およびデータ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成26年2月24日(月) 13:05-13:40	1. 研究概要と研究の意義	磯
		本研究の目的や概要、評価項目、介入自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。	
2	" 13:40-14:10	2. 健診・レセプトデータの流れ	西連地
		健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。	
3	" 14:10-14:40	3. 保健指導記録関係データの流れ	西連地
		構造図・管理者台帳等の印刷から、当該帳票データが解析されるまでの流れについて知る。	
4	" 14:50-15:20	4. 戦略研究推進室の役割と契約について	西澤
		戦略研究推進室の役割と介入自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。	
5	" 15:20-16:10	総合質疑応答	担当講師全員
		健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。	
6	" 16:10-16:20	事務連絡	丸山
		事務的な連絡事項について知る。 交通費支給手続きについて知る。	
7	" 16:30-17:30	交流会	希望者全員
		情報交換など交流を深める。	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料3-1. 平成26年度病態研修会（平成26年5月10日・11日）開催案内文書

平成26年4月14日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

麗春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における受療行動促進モデルによる保健指導を、高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病の病態に関する生理的機序を踏まえつつ行うことで、生活習慣病重症化予防がより効果的に実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）をご記入の上、4月21日までに、メールまたはFAXにてお申し込みください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年5月10日（土）9：50～19：40（9：50から事務連絡）

5月11日（日）9：00～16：10

会場：大阪大学銀杏会館 3階大会議室

（URL：<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/icho-jp.html>）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

別紙2地図参照。

宿泊場所：ホテルは千里阪急ホテル（<http://www.hankyu-hotel.com/hotel-sennhh>）を1泊10,692円（朝食なし）で確保しておりますので、ご利用ください。

ご利用になられる場合は、仮予約の都合上、4月16日（水）までに宿泊人数と宿泊日数を戦略研究推進室（senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp）までご連絡下さい。よろしく願い致します。

個別で予約していただいても構いません。宿泊費は実費支給（上限11,400円）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3時間割をご参照ください。

【4】 研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) セミナー生活習慣病、配布されているガイドライン

【5】 研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から大会議室で行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
・TEL：06-6879-3917・3918 FAX：06-6879-3913
・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料3-2. 平成26年度病態研修会（平成26年5月10日・11日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 病態研修会 時間割
平成26年5月10日(土)～11日(日)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

受療行動促進モデルによる保健指導を、高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病の病態に関する生理的機序を踏まえたうえで
行うことで、生活習慣病重症化予防が効果的に実施できるようになる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

1) 健診結果から、対象者の身体の代謝機序、血管障害状況を整理でき、受療行動促進モデルにそった保健指導計画が立案できる。
2) 健診結果から、対象者が生活習慣病の病態、特に代謝異常や血管への障害を理解するように保健指導を展開できる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	9:50-9:55	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成26年5月10日(土) 9:55～10:00	開講の挨拶	磯
	本研修会の目的と概要について。		
2	" 10:00～10:10	今回の研修のねらい、事例①の説明	野口・ 介入サポートチーム
	事例①(脂質異常)の概要を確認する。		
3	" 10:10～12:30	脂質異常事例①の保健指導計画立案に生かす病態生理	島袋充生先生 (徳島大学 バイオヘルスサイ エンス部心臓血管学)
	保健指導計画立案に必要な、脂質異常の病態生理について理解する。		
昼休み			
4	" 13:15～14:00	事例①の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開	野口・ 介入サポートチーム
	病態生理を踏まえたうえで、事例①の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。		
休憩10分			
5	" 14:10～14:20	事例②の紹介	野口・ 介入サポートチーム
	事例②(高血圧)の概要を確認する。		
6	" 14:20～16:00	高血圧事例②の保健指導計画立案に生かす病態生理	大石充先生 (鹿児島大学 心臓血 管・高血圧内科)
	保健指導計画立案に必要な、高血圧の病態生理について知る。		
7	" 16:00～17:00	事例②の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開	野口・ 介入サポートチーム
	病態生理を踏まえたうえで、事例②の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。		
8	" 17:00～18:00	介入手順書の変更点の説明、その他連絡事項	野口・ 介入サポートチーム
	介入手順書の変更点の説明と、その他の連絡。		
9	" 18:00～18:05	事務連絡	丸山
10	" 18:10～19:40	情報交換会	

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
11	平成26年5月11日(日) 9:00~9:10	事例③の説明	野口・ 介入サポートチーム
		事例③(高血糖・糖尿病)の概要を確認する。	
12	" " 9:10~11:30	高血糖・糖尿病事例③の保健指導計画立案に生かす病態生理	小川渉先生 (神戸大学 糖尿病・内 分泌分野)
		保健指導計画立案に必要な、高血糖・糖尿病の病態生理について理解する。	
13	" " 11:30~12:15	事例③の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開	野口・ 介入サポートチーム
		病態生理を踏まえたうえで、事例③の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。	
昼休み			
14	" " 13:00~13:10	事例④の紹介	野口・ 介入サポートチーム
		事例④(蛋白尿)の概要を確認する。	
15	" " 13:10~15:15	蛋白尿事例④の保健指導計画立案に生かす病態生理	菱田明先生 (焼津市立総合病院)
		保健指導計画立案に必要な、蛋白尿の病態生理について理解する。	
16	" " 15:15~15:45	事例④の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開	野口・ 介入サポートチーム
		病態生理を踏まえたうえで、事例④の保健指導計画の立案と教材を使った保健指導の展開を行う。	
17	" " 15:45~16:00	まとめ、連絡事項	野口・ 介入サポートチーム
		全体のまとめと、その他の連絡。	
18	" " 16:00~16:10	事務連絡	丸山

※一般目標： 学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)： 一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料4-1. 平成26年度研修会IBC（平成26年8月21日・22日）開催案内文書

平成26年8月20日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年8月21日（木）10：00～19：00（9：50から事務連絡）

8月22日（金）9：00～14：40

会場：情報オアシス神田セミナーハウス オアシス1

（URL：<http://www.jo-kanda.com>）別紙1地図参照。

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-4 第2滝ビル5F Tel.03-3253-2911

宿泊場所：京王プレッソイン

（URL：<http://www.presso-inn.com/kanda/>）別紙2地図参照。

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-8 TEL.06-3253-2911

個別で予約していただいても構いません。お1人様シングル1泊当たり8,600円（朝食有）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

(1) 筆記用具

(2) 電卓

(3) 各市の健診結果票、保健指導帳票

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料4-2. 平成26年度研修会IBC（平成26年8月21日・22日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度第1回研修会 時間割
平成26年8月21日（木）～22日（金）

一般目標（General Instructional Objectives: GIO）※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標（Specific Behavioral Objectives: SBOs）※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、保健指導計画を立案することができる。
- 3) 本戦略研究における研修やモニタリングの仕組み及び介入内容の標準化について理解したうえで、保健指導の質の向上に取り組むことができる。
- 4) 健診結果が示している身体状態を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 5) 管理台帳を活用し、すべての対象者を継続的に効率的に支援できる。
- 6) 上記1)から5)について、他のスタッフに復命することができる。

講義内容

番号	日時	講義内容	担当講師
	9:50-10:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成26年8月21日（木） 10:00-10:30	開講の挨拶・趣旨説明	磯
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。相談窓口（戦略研究推進室）を理解する。	
2	" 10:30-11:00	I 保健指導プログラムの基本的な考え方	野口
		本研究における保健指導プログラムの概要、全体的な流れ、介入必須条件、保健指導の各ステップや内容（初回指導、継続指導）について理解する。	
3	" 11:00-12:30	II 保健指導の実施方法（受療行動促進モデルの理解を中心に）	野口
		受療行動促進モデルとはなにかを理解し、いくつかの事例をもとに具体的な展開イメージを理解できる。	
休憩			
4	" 13:30-15:00	II 保健指導の実施方法	野口
		保健指導資料集を使用した具体的な保健指導の展開（高血圧、糖尿病、脂質異常症、蛋白尿）を学ぶとともに、保健指導記録表、管理台帳の使用方法について学ぶ。	
5	" 15:00-15:30	III 保健指導記録票の記入方法	野口
		保健指導記録票の記入の際の留意点を確認する。	
休憩			
6	" 15:40-16:10	IV モニタリングについて	吉田
		本戦略研究におけるモニタリングについて、その趣旨や仕組みについて知る。	
7	" 16:10-17:00	質疑応答	担当講師全員
		重症化ハイリスク者に対する受療行動促進モデルについてのイメージ化、構造図を使った保健指導の展開イメージ等について確認し、疑問点を解決する。	
8	" 17:00-18:10	V 対象となる重症化ハイリスクの病態、代謝異常の理解	高原
		対象のリスクについて、代謝異常などのメカニズムの概要を理解する	
9	18:10-18:20	事務連絡	丸山
		事務連絡	
10	18:20-19:00	交流会	希望者全員
		情報交換など交流を深める。	

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
11	平成26年8月22日(金) 9:00-10:00	VI メカニズムの理解をもとにした事例検討(事例1) 保健指導計画の立案及び保健指導展開例の提示	野口
		事例をもとに具体的な身体状態等の読み解き、保健指導計画の立案を各自及びグループで行う。その後、講師が基本的な読み解き、保健指導計画について解説する。この過程を通じて具体的な保健指導展開を学ぶ。	
12	" 10:00-11:30	事例2.3	野口
	同上		
13	" 11:30-12:00	事例検討のまとめ	野口
		事例検討を通じて、展開が困難であった点について確認する。	
14	" 12:00-12:30	VII 医療との連携について	磯
		重症化ハイリスク基準の各学会ガイドライン上での位置づけ等を知る。医療機関との連携で考慮すべき点を理解するとともに、連携を円滑に進めるためのツールや方策を学ぶ。	
		休憩	
15	" 13:30-14:10	VIII 研修会・伝達研修会について	横山
		本戦略研究における研修会の全体計画について、その趣旨や仕組み等について理解する。 研修内容を他のスタッフにどのように復命するかについて理解する。	
16	" 14:10-14:30	質疑応答	担当講師全員
		介入、モニタリング、標準化(研修会)等、研究遂行するにあたって必要な事項を確認し、疑問点を解決する。	
17	" 14:30-14:40	事務連絡	丸山
		事務連絡	
<p>※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。</p> <p>※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。</p>			

資料5-1. 平成26年度研修会I A (平成26年9月22日) 開催案内文書

平成26年9月10日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で説明会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この説明会の目的は、対照自治体におけるデータ管理（収集・回収・提出）ができるようになることとしております。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から、計2名ご参加ください。

データ収集・管理および契約に関する担当者

保健指導実務担当の保健師

参加申し込み方法：参加申込書（別紙1）にご記入の上、9月17日（水）までに、メールまたはFAXにてご連絡ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成26年9月22日（月）13：00～16：00

会場：大阪大学東京オフィス 多目的室1・2

（URL：<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/tokyo/office>）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 Tel. 03-6205-7741（別紙2地図参照。）

【3】説明会の予定：別紙3時間割をご参照ください。

【4】説明会中の注意事項

- (1) 受付は12時50分から多目的室1・2ホール4Aで行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、説明会への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (4) ネームカードを受付時に貸与し終了後に回収します。
- (5) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤
・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913
・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料5-2. 平成26年度研修会 I A (平成26年9月22日) 当日時間割

別紙3

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 対照自治体 合同説明会
時間割
平成26年9月22日(月)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO) ※

対照自治体におけるデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs) ※

1) 研究の意義や対照自治体の役割を理解し説明することができる

2) データ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成26年9月22日(月) 13:05-13:40	1. 研究概要と研究の意義	磯
	本研究の目的や概要、評価項目、対照自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。		
2	" 13:40-14:10	2. 健診・レセプトデータの流れ	西連地
	健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。		
3	" 14:20-14:50	4. 戦略研究推進室の役割と契約について	西澤
	戦略研究推進室の役割と対照自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。		
4	" 14:50-15:20	総合質疑応答	担当講師全員
	健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。		
5	" 15:20-15:30	事務連絡	
6	" 15:30-16:00	情報交換会	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料6-1. 平成26年度研修会Ⅱ（平成27年1月15日・16日）開催案内文書

平成27年1月8日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

新春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる）こととしております。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）をご参加ください。

費用：1市2名分は、当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年1月15日（木）10:00～20:00（9:50から事務連絡）

1月16日（金）9:00～15:30

会場：大阪大学大学院医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター マルチメディアホール
別紙1地図参照。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 1F Tel.06-6879-3917

宿泊場所：ホテル阪急エキスポパーク

（URL：<http://www.hankyu-hotel.com/hotel/hhexpopark/index.html>）別紙2地図参照。

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-5 TEL 06-6878-5151

お1人様シングル1泊当たり7,000円（朝食有）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

（1）筆記用具

（2）電卓

（3）高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2012-2013・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版・CKD診療ガイド 2012・セミナー生活習慣病

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料6-2. 平成26年度研修会Ⅱ（平成27年1月15日・16日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 研修会Ⅱ 時間割
平成27年1月15日(木)～16日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における介入の標準化(手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導の標準化)を図る

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。
- 2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる
- 3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる
- 4) 次年度以降のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる

介入サポートチームからみた課題:

1 受療行動促進モデルに沿った保健指導ができていない(どうしても、これまでどおりの対策発想の保健指導が出てしまう。保健指導の姿勢が身につけていない)

2 読み取りが深くできない。特に蛋白尿が出現するさまざまな原因を踏まえた保健指導計画が立案できない。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	9:50-10:00	研修中の事務連絡	横山・丸山
1	平成27年1月15日(木) 10:00-10:15	I 開講の挨拶・趣旨説明	磯
	"	II 腎機能低下、尿蛋白陽性についての基礎知識	大阪大学 岩谷博次先生
2	10:15-11:45	健診結果が示している身体状態を適切に理解できるように	
	12:00-13:00	昼休憩	
3	"	III モニタリング結果の報告	吉田
	13:00-13:30	保健指導プログラム遂行における工夫点、問題点の報告、モニタリングのフィードバック	
4	"	IV 受療行動促進モデルに沿った記録表の書き方	野口
	13:30-15:05		
		休憩	
5	"	V 受療の定義・エンドポイントの判定手順について	斉藤
	15:15-16:05		
		休憩	
6	"	VI 介入状況の報告	下村 野口 各介入市保健師
	16:05-18:05	保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かす	
7	18:05-17:10	事務連絡	丸山
		事務連絡	
8	18:30-20:00	交流会	希望者全員

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
9	平成27年1月16日(金) 9:00-10:15	Ⅶ 脂質代謝の基礎知識(リポ蛋白代謝を中心に)	大阪大学 船橋 徹先生
	健診結果が示している身体状態を適切に理解できるように		
10	" 10:15-12:15	Ⅷ 保健指導資料集の使い方	野口
	12:15-13:00	昼休憩	
11	" 13:00-15:00	Ⅸ 事例検討(ロールプレイ含む)	野口
	介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かす		
	15:00-15:15	昼休憩	
10	" 15:15-15:55	X 研修会・伝達研修会について	横山
12	" 15:55-16:00	事務連絡	丸山
	事務連絡		

※一般目標： 学習終了時に期待される成果を示したもの。
※到達目標(行動目標)： 一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料7-1. 平成26年度研修会IBC（平成27年2月17日・18日）開催案内文書

平成27年2月10日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師何名でも可（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年2月17日（火）13:00～18:30（12:50から事務連絡）

2月18日（水）9:00～20:00

会場：TKP 新大阪ビジネスセンター カンファレンスルーム4B

（URL：<http://tkpshinosaka.net/>）別紙1 地図参照。

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9 新大阪 MT ビル 3F/4F Tel. 06-6879-3917

宿泊場所：remm 新大阪

（URL：<http://www.remm.jp/shinosaka/>）別紙2 地図参照。

〒568-0606 大阪府大阪市淀川区宮原 1-1-1 TEL 06-7668-0606

個別で予約していただいても構いません。お1人様シングル1泊当たり9,000円（朝食有）となります。

【3】研修会期間中の予定

別紙3 時間割をご参照ください。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 各市の健診結果票、保健指導帳票